

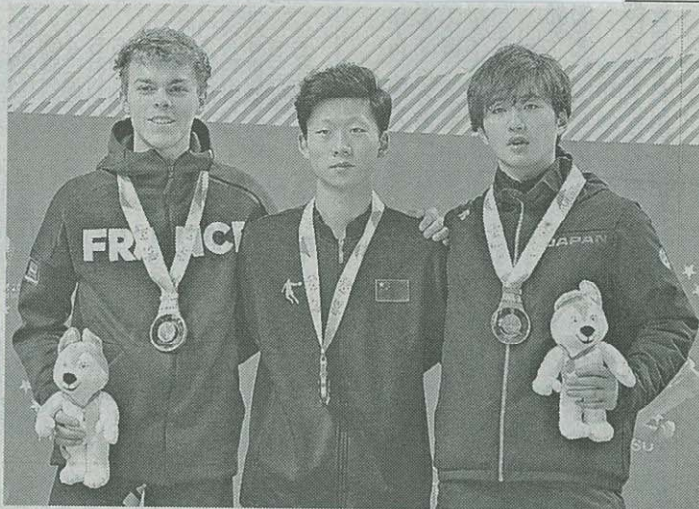
スピードST男子1500

神大・重弘が「銅」

冬季ユニバ

【クラスノヤルスク（ロシア）共同】ユニバーシアード冬季大会第3日は

4日、ロシアのクラスノヤルスクで行われ、スピードスケート・シヨート



シヨートトラック男子1500mで銅メダルを獲得した重弘喜一（右）
クラスノヤルスク（共同）

トラック男子1500mで重弘喜一（神奈川大）が銅メダルを獲得した。女子1500mの小池佑奈（中大）は7位だった。アルペンスキーの女子アルペン複合は松本なのは（早大）が10位で日本勢トップとなった。ノルディックスキー距離は前日の結果によって時間差をつけてスタートする方式で行われ、女子5kmフリーの横浜沙莉（日大）が9位、男子10kmフリーの田中聖土（自衛隊）が14位に入った。

バイアスロンは男子20kmの竹原義之（日大）が29位、女子15kmの佐藤葵（早大）が25位だった。初めて実施されたスキージョーエンテールリングのスプリントで男子の石原湧樹（東大）は30位、女子の佐野響（筑波大）は39位だった。

相手失格で表彰台に

○シヨートトラック男子1500m決勝は、最終盤で上位にいた韓国選手が接触で優勝争いから脱落。20歳の重弘は4番目にゴールしたが、上位のカザフスタン選手も失格となり、銅メダルを手にした。レース展開は失敗してしまっただけ、結果としては良かった。

「たかな。実感が無い」と率直な思いを口にした。今後、レースを残し「この経験を生かして、1000m、リレーでもメダルを獲得して、北京（冬季）五輪でもメダルを取れるように頑張っていきたい」と意気込んだ。